

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	神奈川県
-------	------

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	藤 沢 市 立 明 治 中 学 校					
学 年	1 年	2 年	3 年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	5	5	0	14	28
生徒数	160	168	191	0	519	

研究の概要

1. 研究主題

個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫・改善 - 主に数学科の少人数指導を通して -
---

2. 研究内容と方法

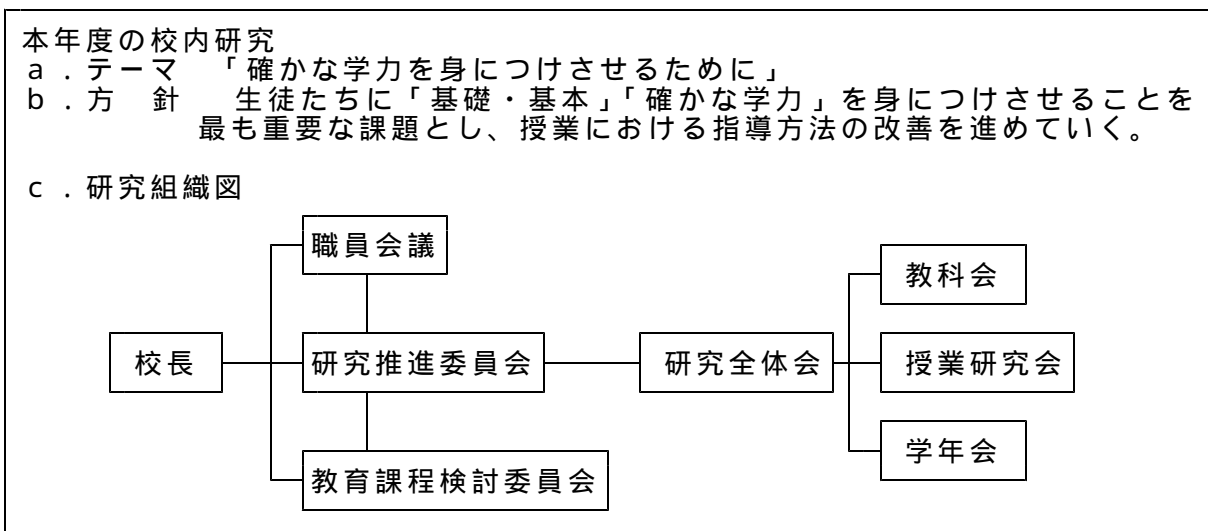
(1) 実施学年・教科

・ 2年、1年・数学科 生徒の理解の状況に差が出やすい教科であるため。
--

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 個に応じた指導のための指導方法、指導体制の工夫・改善 研究の見通し(仮説) 少人数による授業を行うことにより、生徒の理解や習熟の程度に応じたきめ細かな指導が可能となり、個に応じたわかる指導を工夫し展開することで、生徒の学習意欲や理解力は向上する。</p> <p>研究の内容・方法 ・少人数授業の実践・研究 ・生徒の理解や習熟の程度に応じたきめ細かな指導の実践研究 ・わかる授業のための教材、教具、指導方法の開発 ・少人数授業についての意識調査の実施 ・授業や学習についての意識調査の実施 ・標準学力検査(CRT)、県学習状況調査の実施</p>
平成16年度	<p>平成15年度の実践や研究の発展・充実を図るとともに、2年間の実践や研究の成果を研究授業・協議会等で公開していく。</p> <p>テーマ 個に応じた指導のための指導方法、指導体制の工夫・改善 研究の見通し 少人数による授業を行うことにより、生徒の理解や習熟の程度に応じたきめ細かな指導が可能となり、個に応じたわかる指導を工夫し展開することで、生徒の学習意欲や理解力は向上する。</p> <p>研究の内容・方法 ・少人数授業の実践研究 ・生徒の理解や習熟の程度に応じたきめ細かな指導の実践研究 ・わかる授業のための教材・教具、指導方法の開発 ・少人数授業についての意識調査の実施 ・授業や学習についての意識調査の実施 ・外部機関作成資料による学力調査の実施</p>

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究の成果及び今後の課題

#### 1. 研究の成果

成果

望ましい学習集団が形成されつつある。  
チャイム着席を心がけ、私語や忘れ物をなくそうと心がけている。  
数学が苦手な生徒の発表でもそれをいやがったり、ちゃかしたりするのではなく、一緒になって考えたり必要なアドバイスをしたりしている（向学心・協調性）。  
学び取ろうとする自らの意思を持って説明や発表を真剣に聞こうとしている（主体性・真剣さ）。  
耳で聞き、目で見、頭で考えてノートをとったり問題を解き始めている（集中心）。  
はじめは説明された方法にあわせて解き方をまね、そして自分の力で解こうとしている。  
他の解き方と自分の解き方を比べ、よりよい解き方を身につけようとしている（向上心）。  
自ら、発言、発表をする生徒が増えつつある（自主性）。

以下、「学習の記録（授業のふり返り）」プリントに記入された生徒の声から。

- ・今の並び方がいいと思う。わからないところをすぐに友達に聞ける。
- ・並び方は今のままでいいと思う。授業の進め方も今の感じがいい。
- ・授業の進め方がちょうど良く、家での復習をやりやすい。
- ・家でちょっとした時間で今日の復習ができるのでよい。
- ・昨日、黒板でやったところは、教科書を見るとよくわかる。
- ・始めて、黒板に書いた！。今まであまり指されなかったから今日は良かった。
- ・発言の時があったら、できるだけ発言したい。
- ・自分でも、もう少し発言を増やそうと思う。
- ・もっと手を挙げた人に答えてもらうようにした方がよい
- ・最近数学が少し好きになったような気がする。たぶん解ける問題が増えてうれしくなったからだと思う。
- ・Kさんの説明で、悩んでいた問題も解決。
- ・証明を書けば書く程、自然に覚えられた。すごく不思議に思った。
- ・合同条件を図に書いて、文章を書くときの意味がわかったような気がしました。図を書くっていいことだなあと考えた。
- ・証明の文を書いて、何度も読んだら、見ないで言えるようになって、こんなことで覚えられるんだなあと考えた。
- ・家で復習をしていると、いつも、このほかにもこういう考え方があるんだと感心します。数学は考えれば考える程、できるようになるのでうれしいです。
- ・この図形の中に三角形が8つも隠れていたのが驚いた。
- ・教科書の問題だけでなく、いろいろな問題を教えて欲しいです。
- ・感心したこと・・・自分がちゃんとできている。A君が勉強すること。B君も勉強していること。

・最近チャイム着席は平気だけど、私語ももう少し少くします！！

## 2. 今後の課題

生徒個人の問題解決の過程を把握するために、定期テスト等の誤答分析を行っているが、生徒のつまずきを把握した後の具体的な指導法の研究。  
わかりやすい授業を展開するために、引き続き補助教材・教具の開発に努める。  
「学習の記録（授業のふり返し）」プリントの作成等、生徒の家庭学習の習慣化を図るとともに、生徒の意見を聞いたり、学習に対する意識を高めるための方法を考え、常に検討を加えていく。  
生徒の理解や習熟の程度に応じた指導方法を考え、個人追求の選択問題の作成と必要に応じた補充指導の方法、ワンポイントアドバイスの与え方等、指導方法の工夫改善を一層進めていく。  
「確かな学力」が身に付いているかを知るための方法と資料の作成・活用について研究を一層深めていく。  
習熟度別学習のより良いあり方についてさらに研究を進める。

### 学力等把握のための学校としての取組

- ・県学習状況調査の実施と結果の活用
- ・標準学力検査(CRT)の実施と結果の活用

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

フロンティアスクール公開授業並びに研究会  
・日 時 平成16年1月14日(水) 13:10～  
・場 所 藤沢市立明治中学校  
・内 容 公開授業・研究協議会・講師講演(少人数授業・数学科)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】  15年度からの新規校  14年度からの継続校
- 【学校規模】  3学級以下  4～6学級  
 7～9学級  10～12学級  
 13～15学級  16学級以上
- 【指導体制】  少人数指導  T・Tによる指導  
 その他
- 【研究教科】  国語  社会  数学  理科  
 外国語  音楽  美術  技術・家庭  
 保健体育  その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】  有  無